



# 田村市立都路中学校 学校だより 第25号

令和7年10月16日(木)  
発行責任者：校長 佐藤 仁  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

## 努力は足し算、協力はかけ算

藍爽祭を2日後にひかえ、生徒の皆さんはどのような心境でしょうか。

ワクワクしている人、ドキドキしている人、緊張している人、不安や心配な気持ちを抱えている人、様々かと思います。

藍爽祭を前にした皆さんにエールを送る意味で、学年だより24号で取り上げた「努力は足し算、協力はかけ算」という言葉について改めて考えてみたいと思います。

知っている人もいると思いますが、先日国際親善試合でサッカー日本代表がブラジルと対戦し3-2で勝ちました。ブラジルはFIFAワールドカップ出場22回、優勝5回のまさにサッカー王国です。日本戦の直近5試合の対戦結果は5戦0敗と勝つことができませんでした。今回の親善試合も圧倒的にブラジル優位の試合が予想されていました。事実、前半は攻守ともに劣勢で0-2と日本は負けていました。後半に入り戦術を変えたことが功を奏し大逆転、歴史的勝利につながりました。



メモ：FIFAワールドカップ

国際サッカー連盟（FIFA）が主催する男子ナショナルチームによるサッカーの世界選手権大会で、4年に1度開催される。

日本の最高順位は16位。

一人一人のフィジカルやテクニックにおいて大きな差があるブラジル相手に、なぜ日本は勝つことができたのか。勝利への執念（精神論）はもちろんですが、前半の相手の試合運びを分析し臨んだ後半の日本の戦術、組織力、チームワークが勝利の要因ではないでしょうか。

ワールドカップ優勝5回を誇る強豪ブラジル戦の勝利の報道を見た時、タイトルにある「努力は足し算、協力はかけ算」という言葉が脳裏に浮かびました。ブラジル戦勝利に向けて選手一人一人が体力や技術の向上に努め、チームとして作戦を練り、コミュニケーションを図り、協力してプレーすることで、チームとしてのパフォーマンスは個々の選手の力を単純に足し合わせたものをはるかに超える力となったのだと思います。チーム力、組織力を高めることが、選手一人一人の、そしてチームとしてのパフォーマンスの向上にいかに重要かがわかります。

藍爽祭成功には、皆さん一人一人の熱い思いと任された役割を果たそうとする責任感、そしてダンスや歌、学年発表などのパフォーマンスの向上が必要不可欠です。そして、皆さん一人一人の藍爽祭成功に向けた気持ちが一つになり同じ方向を向いた時に、爆発的な力が生まれ足し算以上の成果が得られるはずです。残された時間は少ないですが、個人として、チームとしてのパフォーマンスの向上に努め、藍爽祭当日を迎えてほしいと思います。

